

中小企業庁「創業機運醸成賞」受賞 小樽商科大学

小樽商科大学（北海道小樽市）グローバル戦略推進センター産学官連携推進部門が実施した「北の四大学ビジネスプラン発表会」「No Mapsイノベーションキャラバン」が、経済産業省中小企業庁（本部東京・千代田区）の「創業機運醸成賞」を受賞し、注目を集めている。

創業機運醸成賞は、中小企業における開業率向上のため、創業について関心が薄い層にも意識してもらうことを目的としており、地域における創業に関心をもたせる継続的な取り組みを行った団体に贈られる。

北の四大学ビジネスプラン発表会は、道内の専門分野が異なる学部・学科を擁する小樽商科大、北見工業大学（北海道北見市）、帯広畜産大学（北海道帯広市）、公立ほこだて未来大学（北海道函館市）が集まり

開催しているもの。平成27年より始動し、地域に貢献できる学生研究プロジェクトの発表やディスカッションを行っている。

一方、No Mapsイノベーションキャラバンは、企業経営者がイノベーション・起業・新たな取り組みへの挑戦・地域課題の解決などといった自らの経験を道内の高校生に伝えるセミナーのこと。そもそも「No Maps」とは、No Maps実行委員会（事務局・札幌市）が実施している総合コンベンションのことで、先端テクノロジーや斬新なアイデアなどを軸に新しい価値観・文化・社会の姿を提案する事業である。

同大では経済産業省北海道経済産業局（札幌市）と共同でセミナーを開催し、過去4回行ったキャラバンの活動には教育機関のみならず、地



地域に貢献する産学官連携が高評価を得ている

方自治体からも関心が寄せられた。また、企業経営者の講演の後は講師と高校生によるディスカッションも行われ、普段聞くことのできない話に、生徒たちは目を輝かせていた。

今回創業機運醸成賞を受賞したのは全24団体。2月23日に品川インターシティホール（東京都港区）で開催された創業イベント「アントレプレナーシップジャパンキャンペーン」内で授賞式が行われ、同大からは産学官連携推進部門長である李濟民教授と、副部門長の北川泰治郎准教授が出席。「これからも地域と共に、新しい価値を生み出し、リーダーシップを発揮できる人材を育成していきたい」と受賞の喜びを語った。